



南海トラフ地震発生帯掘削計画

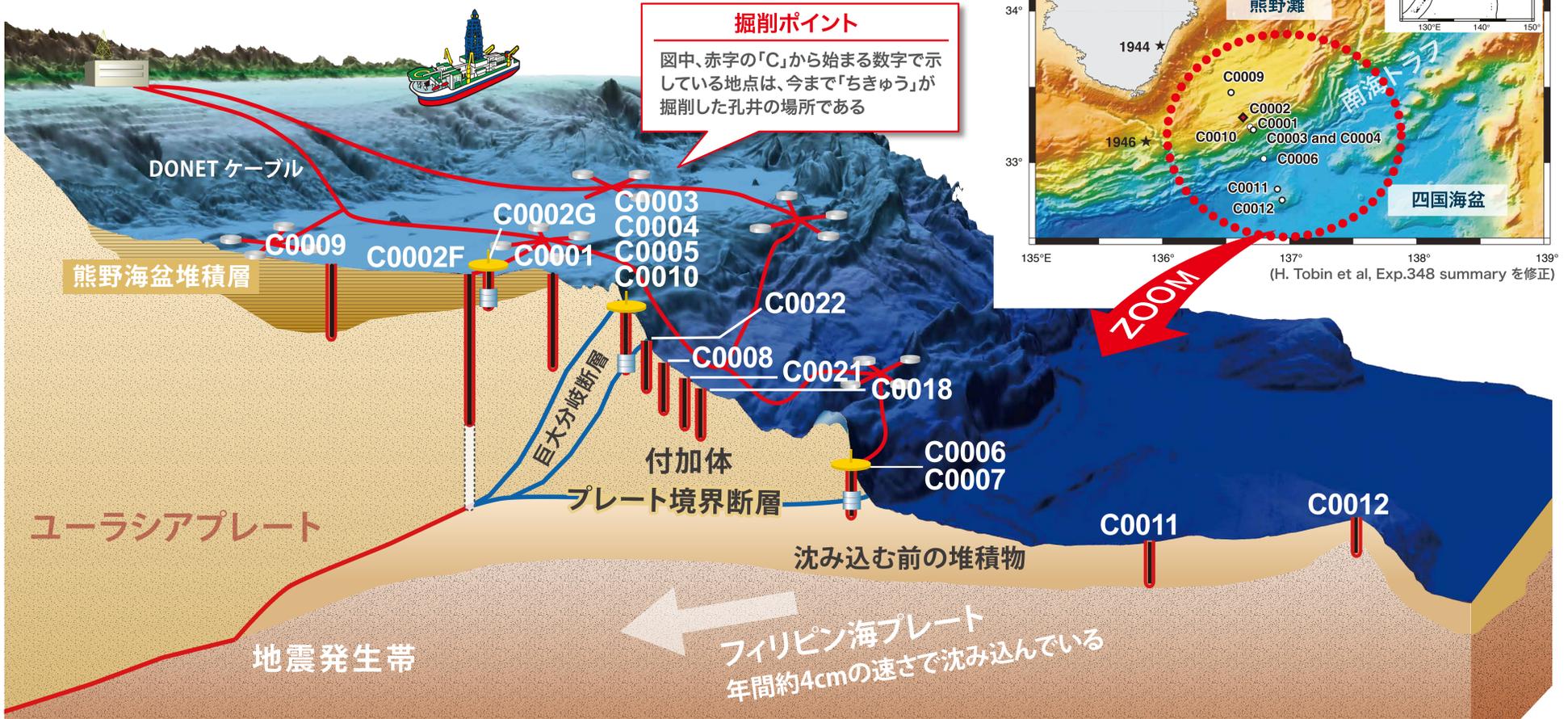
NanTroSEIZE : Nankai Trough Seismogenic Zone Experiment

目的

巨大地震震源域浅部に相当する巨大分岐断層を掘削し、柱状地質試料(コア試料)の採取や、掘削孔内観測を実施することにより、プレート境界断層内における南海トラフ地震と津波の発生メカニズムを解明する

具体的にどのようなことをしているのか?

三重県大王崎沖、熊野灘から四国海盆にかけて、横断的に検層※データとコア試料を採取、そして掘削孔内の長期間のリアルタイムモニタリングを行っている



Q なぜ南海トラフを掘るの?

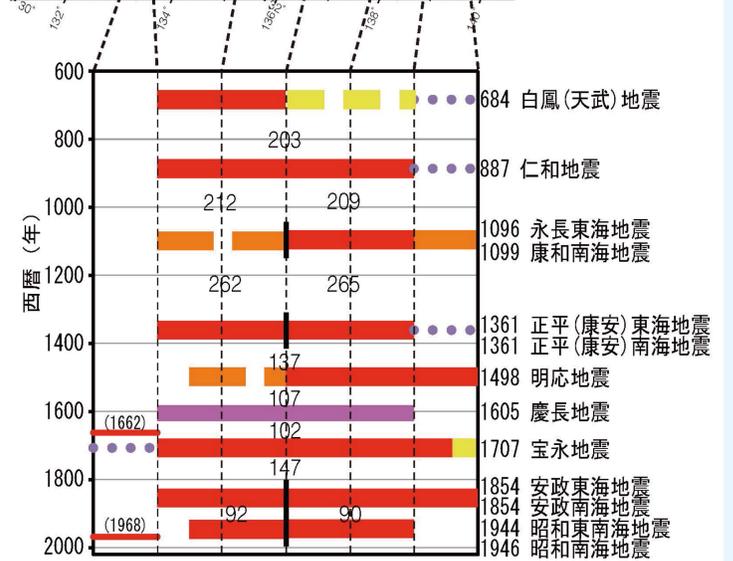
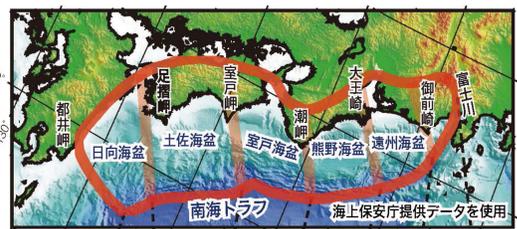
A 東南海地震の発生海域と推測されるため

私たちが南海トラフをターゲットとして掘る理由

- ①南海トラフでは、M8以上の巨大地震が100~200年という周期で繰り返し起こっている
- ②南海トラフの海底と周辺の陸上からは、過去の巨大地震の爪痕や証拠をたくさん得ているため
 - 👍 巨大地震が起こる準備→発生→収束という一連の過程を知り、地震の本質に迫りたい
- ③「ちきゅう」の最新の掘削技術を使って、地震によるプレート破壊地点でのサンプル採取、長期間かつ連続的に海底下のモニタリングが可能
- ④今後の東南海地震の発生への防災と減災につなげるため

南海トラフ掘削はとて大変!

当海域は黒潮本流の流路であり、しばしば非常に強い海流にさらされ、機材や掘削ツールの降下作業に困難をきたす恐れもある。また、夏場には台風の通り道となるため、荒天待機が避けられない場所でもある。
 黒潮ウォッチサイトも見てね!



■ 確実な震源域
 ■ 確実視されている震源域
 ■ 可能性のある震源域
 ● 説がある震源域
 ■ 津波地震の可能性が高い地震
 ■ 日向灘のプレート間地震(M7クラス)

図中で表した数字は、地震の発生間隔(年)を示す。

地震調査研究推進本部より引用

